



かしわ



開盛小学校だより No. 9 (通巻358号) 令和5年11月24日(金) 発行責任者: 校長 落合利広

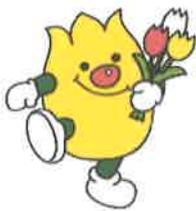
開盛小の教育目標

広く世界に目を向け主体的・創造的に実践する子

○進んで学び、よく考える子 ○他人に優しく、最後までやりぬく子 ○元気に遊び、丈夫な体をつくる子

本年度の重点目標

「自分から進んで」～自信を持ち、自ら進んで行動する児童の育成～



白紙の未来を、子どもたちは歩む。

～ある日の新聞広告「AC JAPAN」より～

湧別町立開盛小学校 校長 落合利広



11月のある日の新聞。目を見開きまっすぐに見つめる子と前途が見えない地図上を歩く子の写真と、冒頭の言葉に次のような文章が続く。「近い将来、今ある仕事の約49%をAIやロボットが担えるようになるという予測がある。子どもたちは、まだ見ぬ仕事や働き方が生まれていく、白紙の未来へと進む。新しい価値観に出会いながら、自分らしい道を一步ずつ切り拓いていく。子どもたちと向き合い、ともに歩いていく社会へ。」と。改めてその全体を見直し、その意味を考えてみると…。

「新しい価値観に出会いながら、自分らしい道を一步ずつ切り拓いていく。」めまぐるしく変わっていく社会環境【VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)、共生社会、精神的豊かさの重視(ウェルビーイング)…]の中で、現在の子供達には、自らが社会の創り手となって、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められていくことになるのではないかと考えます。ある程度のルールが引かれているのではなく、まさに、自分らしい道を切り拓かないと、その場で立ち止まってしまうことになりかねません。学校としても、「新しい価値観に出会えるようにする」ために、ICTを活用した授業や外部講師を招いた授業、日々の授業、校長講話によるSDGsや時々のトピック等についての理解を深める話などの機会を作っていきます。また、一方で11月2日、15日に行われた公開研究会の運営や参加、先生方全てが授業を公開し見合う研究授業の開催など、授業力向上により学びの質を上げ、自ら考え問いを持つきっかけを作っていこうと先生方は試行錯誤しています。

「子どもたちと向き合い、ともに歩いていく社会へ。」は開盛地区の皆さんの総意であることは、これまでの学校だよりで記してきた中身を見れば明白です。子ども達を見守り、声をかけ、大人の真剣な活動の姿を見せていくことで、子ども達は人との温かいつながりの中でお互いを高め合い、不透明な未来に向かう一筋の光を見ることができるところでしょう。前号でも触れましたが、10月22日に行われた学芸会で、会場にお越しの皆様にご協力をいただいた「YMCA」をはじめ、会場が一体となる場面が数多くあり、子どもたちの学芸会の感想文の中にも多数登場するなど、地域の方々に応援いただいていることを肌で感じ、うれしく思っていることがうかがわれました。その感想文を見たとき、(毎号の学級通信を見させていただいています)私は、改めて地域の皆様へ感謝すると共に、今後も開盛小学校の児童を温かく見守っていただけることを強く願った瞬間でした。

そこで、今回も、皆さんにお願いです。来年度の栽培活動や環境美化活動等にご協力していただける方を今から募集します。また、子ども達の活動に協力できることがありましたらお知らせください。少しの時間でも、校長室に来ていただき子ども達のお話をしませんか?温かいお茶を準備してお待ちしております。

湧別町学校教育推進協議会 開盛小学校公開研究会

11月2日、公開研究会を開催し、学級（3・4年生）算数科の授業を湧別町内の先生方に参観いただき開盛小学校の研究についてご協議いただきました。3年生は「分数『たし算の計算方法』」、4年生は「小数『ひき算の計算方法（小数第2位までの小数）』」という内容でした。たくさんの先生方が見つめる中ではありましたが、どのように考えれば答えを導くことができるか考え、図や言葉、筆算などを使って自分の考えを整理して発表する二人の姿は、大変立派でした。今後、ご助言いただいたことを生かし、開盛小学校全体で共通理解のもと、子どもたちにとって実りある学習指導を行っていきます。



相手に自分の考えをわかりやすく説明する工夫。iPad を使ってノートに書いたことをテレビに映し、必要事項をペンで記入しながら説明する二人。いくつかの方法を考え出し、一番わかりやすい方法を説明しました。



授業の終わりに、自分が学んだことを伝え合いました。

授業後、体育館にてグループに分かれ、研究の成果として表れている点、今後の課題である点等を参加された先生方と協議しました。

クリーン活動で秋の片付け&春への準備

7日（火）、来春の花壇を鮮やかに彩るチューリップの球根を花壇に植えました。前日の雨で土が濡れていたため、穴を開けるのに一苦労。土に穴をあける人、球根を穴に入れて土をかぶせる人と全校児童・教職員が総出で役割分担をして作業しました。雪が解け、芽を出すのが楽しみです。その後、冬に向けたもう一つの作業に取り組みました。大量の落ち葉を拾い集め、籠やブルーシートで1か所に運びました。こうした作業も一生懸命行う所が、開盛小学校児童の良い部分の一つだと思います。



穴に1つつ球根を置き、優しく土をかけました。

たくさんの落ち葉。本当に終わるのかな~と少し不安でしたが、子ども達と先生方の頑張りで、あれよあれよという間にきれいになっていきました。

MOA 美術館児童作品展コンクール入賞表彰

全校児童が、標記コンクールに絵画や書道を応募したところ、3名の児童が入賞し、表彰状と副賞をいただきました。校内で行われた表彰式では、「凄いいね。」という友達からの賞賛の声と拍手に受賞した3名の児童は笑顔になっていました。



【絵画の部】	◎湧別町長賞	6年	さん『よさこい』
	◎湧別町教育長賞	3年	さん『走ってる自分』
【書道の部】	◎銀賞	5年	さん『太平洋』

税に関する絵はがきコンクール入賞表彰

標記コンクールには、高学年3名が応募し、3名ともに『努力賞』を受賞し、表彰状とたくさんの副賞をいただきました。

上記2つのコンクールにおいて、子ども達の頑張りが認められたことはもちろん、友達を受賞を素直に喜び心を持つ開盛小の子ども達を見て、とてもうれしく思いました。



5年 さん



6年 さん



6年 さん

ゼロカーボン出前授業 木工体験

11月9日(木)、北見「木のプラザ」より講師をお招きし、『ゼロカーボン 木工出前授業』を行いました。先生のお話を聞くことで、木は二酸化炭素を吸うこと、木を「使う→植える→育てる→使う→…」といった森林循環が地球の温暖化防止につながることを学びました。また、「ドアプレート・車・竹とんぼ」から各自1種類を選び、木の感触を味わいながら木工作業を楽しみました。



体育館で授業。竹とんぼを作ったグループは、早速空いているスペースで竹とんぼを飛ばして遊びました。



竹とんぼ



ドアプレート



車

赤い羽根共同募金

学芸会の際にご協力いただいた赤い羽根共同募金。先日、校長室にて社会福祉協議会の方へ寄付しました。募金額は6,898円でした。募金は、町の事業に使われるとのことです。皆様ご協力ありがとうございました。



【12月の生活目標】

- ◎手洗い、消毒、マスクをしっかりとしよう。
- ◎冬道の安全な歩き方を身につけよう。

12月

日	曜	行 事
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会、クラブ
5	火	
6	水	B5日課、職員会議
7	木	校長会議、特別支援委員会
8	金	
9	土	
10	日	湧別町家庭教育講演会
11	月	スクールカウンセラー ネットパトロール
12	火	情報モラル教室
13	水	研修日
14	木	
15	金	アドバイザー訪問、安全点検日
16	土	
17	日	
18	月	絵本読み聞かせ 上湧別中学校入学説明会
19	火	大掃除週間（～25日）、教頭会議
20	水	英検 Jr.受検日、わくわく号、研修日 ネットパトロール
21	木	
22	金	全校外国語「クリスマス会」
23	土	
24	日	
25	月	B5日課、大掃除、時数集計 冬休み前全校集会、14:30 下校
26	火	冬季休業日（1/17～）
27	水	
28	木	
29	金	学校閉庁日
30	土	学校閉庁日
31	日	学校閉庁日

11月26日（日） 日曜参観&親子体験会

日曜参観とPTA 親子体験会を開催します。授業は、全校児童で行う「体育『プレルボール』」を予定しています。「どんな競技？」と思われる方も多いのではないのでしょうか。ぜひ、どんな競技なのか、どのような目的でこの競技に取り組んでいるのか、また、その目的を達成するために子ども達がどのような学習活動を行うのか参観いただきたいと思います。

授業後は、PTA 親子体験会として「ヒンメリづくり」を行います。講師の方の指導を受けて、素敵なヒンメリが作れると良いなと思います。

【期 日】

令和5年11月26日（日）

【日 程】

- 9:20～10:05 授業参観（体育館）
- 10:25～12:00 親子体験会（体育館）
＜ヒンメリ作り＞
- 12:00～ 帰りの会
- 12:10 下校